

なでしこ通信 第 40 号

《隔月発行》

— 目 次 —

- ★母なるもの いのちを伝える要 ～家族の絆・人づくりの基～
石鎚神社宮司 十亀 興美
- ★ワクチン待って！ **神話の国生みの物語**
- ☆書籍のご紹介
長友佑都（インテル）の自伝にみる家族の絆
- ☆事務局から

母なるもの いのちを伝える要 ■ □

～家族の絆・人づくりの基～

石鎚神社宮司・愛媛県神社庁長 十亀 興美

■はじめに

世の女性のあり方について私の思うところを述べさせていただきます。

今の世の中、家庭にあって母なるものの大切さを痛感し、家庭の善し悪しはお母さんにつきると思い知らされております。

現今、女性の社会進出はめざましいものがあり、それに反対するというものではありません。が、女性の第一の使命は、いのちを伝えることと、いのちを産み育てることです。それが男性の役割との根本的な違いです。

この世は陰と陽の世界です。人間も自然界の生きとし生けるもの全てが、陰陽の結びによって次なるいのちが誕生し、生成発展をとげ、いのちを伝えてまいりました。

男性は赤ちゃんを産むこともできませんし母乳を飲ますこともできません。それは神様

が女性に与えられた大切な大切な使命です。その使命を果たせるように女性の身体をそのようにつくられたのです。母の体内にいのちを宿し、十月十日育んでの胎内育児、そして命がけの出産。生まれ出た赤ちゃんに母乳を与え、愛情を注ぐ情感に、母子の絆が深まります。母の心臓の鼓動を聞きながら、母乳をいただいて安心感の中に育ちゆくところに、「三つ子のたましい」の根幹があります。これが子育ての要諦であろうと思います。我が子を育て、また我が孫を育てるなかで、母なるものがいかに大切かを確認しております。

■日本の国柄は神話にあり

日本の国柄は、日本神話によりますと、イザナギ、イザナミの二神によって、国生みと神生みがなされ日本が誕生しました。最も尊い神様である天照皇神様のお孫さん、ニニギノミコトが、高天原という神様の世界から日本の国に天降りされ、その子孫である神武天皇が、大和の国（今の奈良県）の橿原の宮にて日本の国の建国を宣言して初代天皇となりました。以来、今上陛下（平成の天皇陛下）まで、125代、2671年の長きにわたり、万世一系、連綿と受け継がれて現在に至っております。

日本の国は男尊女卑といわれますが、決してそうではありません。日本の最も尊い神様は天照皇大神という女神であり、2000年の昔から今の伊勢の神宮にお祀りされています。皇室の祖先神であり、私たち日本人の総氏神として崇敬されてきました。日本神話に由来する神道は、建国以来、昭和20年にGHQの占領政策にて一宗教法人とされるまでの2600年余、日本の国教でありました。更に、神宮の祭主は、歴代女性がつとめられてまいりました。現在は池田厚子様（今上陛下の姉君）がおつとめになっておられます。

■天照皇大神のおことば（神勅）

更に日本神話によりますと、天照大神は、お孫さんのニニギノミコトが、高天原より豊葦原の瑞穂国（葦の如く稲穂が豊かに稔る国）、つまり日本の国に天降りをされる時、三大神勅という3つのお言葉を賜りました。その1つが天壤無窮の神勅で、「日本の国はわが子孫の王たるべき国であるから、ニニギノミコトよ、ゆきて治めよ。天地と共に永遠に栄えますように」という天皇統治についてです。2つ目は「この宝鏡を私をみるごとくしてまつるよう」に」という宝鏡奉斎の神勅、最後は、「この高天原に育つ稲穂を持って日本の国の食物とするように」という斎庭の稲穂の神勅です。天皇陛下におかれては、宮中において御自ら稲種を植えられ稲穂を収穫されます。新穀を宮中三殿と神宮に献供し、報恩感謝の新嘗祭をご奉仕され、国民の安寧も祈っておられます。

■摩訶（まか）不思議なる食物・米（稲穂）

先年「皇室典範に関する有識者会議」の答申を受けて、皇位継承の問題が国会に上程されるどころでしたが、秋篠宮悠仁親王殿下のご誕生により見送られました。皇室の伝統として、何故皇統は男系男子なのかを考えてみると、上記の稲穂の神勅に思い至ると考えられます。天皇はご即位にあたり大嘗祭にのぞまれ、天照皇大神と共にお食事をなされる中に、稲穂の穀霊を継承すると考えられます。

米は1日3食、1年365日、そして一生食べ続けても飽きることがありません。摩訶不思議なる食べ物。まさに、天照皇大神よりの贈り物です。麦やその他の種であってはならない、稲穂を継承するのが、男系男子の皇統であるわけです。そして、それを正しく産み育むのが母なるもの。天照皇大神の御心継承のいのちを伝える大義があるのでは、と推測されるのです。

■いのちを伝える母なる使命

皇位継承の理は、農耕民族である日本の一般家庭にあっても同じです。お母さんはいかに頼もしい男子を育てて世に送るか心を砕きます。女の子は、嫁を貰うならお母さんを見て貰えと言われるが如く、お母さんの姿に学びます。女性が頼もしい男性と結ばれ、三世代同居（味噌汁の冷めない距離も含みます）すれば、少子化は解消されるでしょう。

また、家族、親族の構成は、野球チームに似ています。ピッチャーは大黒柱のお父さん、キャッチャーはチームの要、お母さん。内野手は子供たち。ベンチには監督におじいちゃん、コーチはおばあちゃん。外野手は親族。チームの指揮は監督とコーチ。なれどチームの要はキャッチャーのお母さんです。ホームベースからチーム全体を掌握し、その目配り、気配りのサインにチームの命運はかかっています。全て女房役の手の中にあるということです。

更に、稲穂の神勅の御心には、朝餉・夕餉という食育があります。食卓を囲む一家団欒の姿こそ先祖の願い、子孫繁栄のいのちの継承への祈りがあります。大黒柱はお父さん、されどその要はお母さん。母なる心こそ太陽神とたとえられます。全ての人、生きとし生ける全てのものに分け隔てなく生命力を与え、照らし続ける天照皇大神の母なる心を生きたことこそ、女性のこの世の使命と思われるのです。

■今、わが国は

今、日本は、東日本大震災という未曾有の国難に遭遇し、筆舌に尽くし難い大惨事の中で、国家・国民挙げて復興への並々ならぬ対応が行われております。

この大震災の教訓は、家族の絆、地域の絆の大切さ、更には、国家の存在の大切さ、また、相互扶助、公に尽くす心の重要さを、国民に等しく目覚めさせています。

大震災の終息と、被災地の復興の早期実現を祈念申し上げます。この教訓が人心荒廃・混迷の中にある日本の、道義の国としての再生に活かされることとなれば、尊い人命を奪われた方々の死を無にせぬ追悼の縁となれば、と念願するところでもあります。心よりご冥福を祈念申し上げ、国づくり、人づくりに努力しようではありませんか。

合掌

《天皇陛下は5月24日、皇居内の生物学研究所脇の水田で、毎年恒例の田植えをされました。水田に入られた陛下は、もち米の「マンゲツモチ」と、うるち米の「ニホンマサリ」の苗計100株を植えられました。秋の稲刈りも陛下が自ら行われます。》

■□ワクチン待って！

＊＊神話の国産みの物語＊＊

性モラルの発展した社会においては、結婚し、性交渉を持ち、出産し、子が育ち、もう子を生むことがない更年期に至ってはじめて子宮頸癌が発症するという図式が成り立つ。

逆に、性モラルが低下した社会においては、女性の性交渉年齢が10代前半などと極端に下がり、他方、婚姻し、子を生む年齢が高くなる傾向がある。この場合、子宮頸癌の発症年齢も30代前半などに下がるので、子宮摘出が子を生めない不幸という状況を招くことになる。

子宮頸癌というのは、そういう病気である。

罹患された方には同情を禁じ得ない。ただし、健康な生活をし、貞節を守って、普通に婚姻し、セックスをし、妊娠し出産するなら、女性には失礼な言い方になるかもしれないが、子宮頸癌の発症は更年期に至ってからのことになる、ということである。これが子宮頸癌の特徴である。現代社会では、初期の子宮の異形成（子宮頸癌を含む）は、細胞診とHPV検査の併用による定期検診でほぼ確実に発見できる。

日本神話では、イザナギとイザナミが天御柱（あめのみはしら）で初めて出会ったとき、イザナギは、「我、成り成りて、なり余るものあり」と言います。そしてイザナミは、「我、

成り成りて、なり足らざるところあり」と答えます。

これは大変重要なことを話しています。「成り成りて」というのは「立派に完全に成長した」という意味です。完全に、です。完璧に成長し、成人したと言っています。ところが、完璧なはずなのに、男性のイザナギには「成り余るものあり」。女性のイザナミには、「成り足らざるところあり」と言うのです。

余ったり、足らなかつたりというのは、完璧ではないということです。そこで二人は天御柱を回り、互いの余るところと、足りないところを結合させて子を作ります。大切なことは、互いに「完璧に成長して」はじめて、互いを補い結婚せよ、と言っています。

しかも、天御柱をまわる際、女性のイザナミから最初に声をかけた。するとヒルコという、骨のない子が産まれてしまう。二人はヒルコを葦の船に乗せて、流します。

二人はちゃんとした子を産むために、今度は男性であるイザナギから声をかけ、子をつくります。声をかけるのは女性からするものではない。男性からするものです、というわけです。

そして現代を生きる私たち日本人は、その神話の神々の直系の子孫です。

その日本人が、10代前半の、まだ体もオトナになっていず、ひとり立ちして子を養うだけの能力も実力もないような子供に、セクシャルデビューなどとセックスを煽って、いったい何をするつもりか。

性などというものは、男児でも女児でも、「成り成りて」となるまでは、ならぬことはならぬ、と教えるのが第一です。

コンドームの付け方や、女性の避妊の仕方などより、もっと教えなければならない大切なことは、子を産み育てるということの大切さや価値観、苦労や責任の重大さです。命を産むのです。

十代で好きな人ができたら、どうやってセックスをするか、男女の体の違いがどうなっているかなどということ教えるのではなく、その好きな人を生涯かけて守り、二人で力をあわせて子を産み育てることができるように、もっともっと成長しなさい、と、その子の気持ちを昇華させるのが、オトナや社会がすべきことです。

それまでは、性は禁止、我慢すること。身を律すること。我慢を強いるのは、子供にとってはとても辛いことかもしれないけれど、ひとりひとりが、欲望に対してちゃんと我慢

ができる社会というものこそ、誰もが安心し、安全に暮らせる社会というものです。

(南出喜久治弁護士 ご文章抜粋)

書籍のご紹介

☆長友佑都（インテル）の自伝にみる家族の絆

「日本男児 長友佑都」（長友佑都著，ポプラ社，1333 円＋税）より

「周りの忠告は煙たがるだけ。自分自身で気がつかないと意味がない。いろいろな人とつきあうことで、良いことや悪いことを自分で判断出来るようになる」と考えていたことをのちに母さんから聞いた。もしもガミガミ言われたら、「うるさいんじゃ!! 俺の気持ちなんかわからへんやろ」と余計に反発していたと思う。」（p34～p35）

当時（西条北中学 1 年生）は不良ぶっていた。片親だという目で見られることに腹が立つし、恥ずかしい。（p35～p36）

ハードな練習をしている運動部の生徒が授業中に寝ることは特別なことではなかった。でも僕は絶対に寝ないで頑張った。母さんが必死で働いて授業料を支払ってくれている。そう思うと、寝ることなんかできなかった。（p86）

お祖父ちゃんの弟や母さんのいところから、お祖父ちゃんの話をしてもらった。お祖父ちゃんは僕らが西条へ来た翌年に亡くなっていたから、とても新鮮だった。「現状に満足していたら、上には行けない。成長できない」。生前お祖父ちゃんがよく言っていた言葉を知り、嬉しくなった。高校 3 年間、ずっと僕が信じてきた気持ちと同じだったから。お祖父ちゃんが僕を導いてくれたのかもしれないと思った。（p96）

■■■ 事務局から ■■■

◆十亀宮司には、この 3 月の院生のめざす会インタビューでご協力いただきました。2 時間に亘る素晴らしいお話の要約を「なでしこ通信」に掲載させていただくようお願いいたしましたところ、あらためてめざす会会員の方々に向けたご文章をご寄稿下さいました。

◆22 年度の決算報告書を同封致しました。3 月末時点では赤字ですが、5 月末にはやや黒字になっております。会員数の割に会費収入が少ないのは冬眠会員さんが多くいらっしゃるからでございます。◇会費納入時に数千円とかまた 1 万円とか送って下さる方が多くいて下さっています。皆様のご期待に沿う活動ができるよう恐れつつ前進あるのみです。

◆新潟県三条市食育推進室の統計によりますと、完全米飯給食に切り替えてから、給食残量が3%とそれまでの4分の1になり、小学生の肥満が劇的に減りました。どうして完全米飯給食ですと残食が減るのでしょうか。パンはちぎって食べたい分だけ食べる文化、日本のご飯は茶碗に盛った分は残さないように教えられる食べ物。パンや麺が給食に出されていた頃は、残すということに抵抗感が少なかったのに比べ、完全米飯給食になったことで残さない食文化へ戻りつつある、と考えられないでしょうか。《ビッグコミック・玄米先生の弁当箱第8巻》

◆私事ですが、伯父が95歳で亡くなり、葬儀では海外に住む孫の「おじいさんへ」という手紙が読まれました。「僕が知ったり経験したりしている恒岡家というものはおじいさんから始まります。今おじいさんはいなくなり、恒岡家に残していかなくてはならないことは何かと考えました。おじいさんは言っていました。お金や買えるものはなくなることがあるけれども、知識や教養など頭に入っているものはなくなることがないし、誰にもとられることがない。その考え方は僕の両親も受け継いでいましたし、そのおかげで今の僕の人生があると思います。おじいさんはいろんなことを成し遂げたけれど、僕にはやはりこの言葉が一番心に残っています。そんなふうにおじいさんが教えてくれたからこそ、おじいさんは僕たちの心の中に、より強く存在する気がします。」

◆年会費（1000円以上）の切れる方に払込取扱票を同封しております。1000名を目指しております。現在764名でございます。よろしくお願い申し上げます。

健全な男女共同参画社会をめざす会

会長 青井 美智子

〒790-0931 松山市西石井 1-3-30

ホームページ <http://www.mezasukai.com/> 電話 090-8971-7721 FAX 089-964-3903

メール michikoaoi25@yahoo.co.jp (件名を明記してください)